

うつさないため うつらない

中国武漢から感染拡大が始まり世界中にあつという間に広がった新型コロナウイルスいつ収束するのでしょうか？

三月の寺報を発行した時はこんなスピードで感染拡大していくとは思いませんでした。

日本はまだ感染拡大のスピードがアメリカやヨーロッパ諸国に比べると緩やかでしたが、各国の状況を参考に、とうとう、緊急事態宣言が昨日（七日）発出されました。

対象の都府県は東京、神奈川県、埼玉、千葉、大阪、兵庫、福岡。福岡県は一七六八、愛知県の二三一人（いずれも六日現在の数）よりも感染者は少ないのですが、一週間で感染者数が六倍に達しているため対象になったようです。

新型コロナウイルスに関連する報道でクラスターやパンデミック、オーバーシュート、

ロックダウンなどのカタカナ語を覚えしました。

宮崎県は八日現在で十六人の感染者数です。隣町の高千穂町で二名の感染者が出ました。決して新型コロナウイルスは遠くで起きていることではありません。何時、私が感染するか分からないと自覚すべきです。

テレビの報道を見ていて、若者が「年配者が感染しているから私は大丈夫だと思う。だから、夜間の外出自粛はしません」とか「退屈なので今晩はクラブで踊り明かします」と発言しているのを見て、とても腹が立ちました。

テレビを見た後、息子に「こんな奴はすぐ感染すればいい、重症化すればいい」と言っている私がいまいました。冷静になって思いを巡らすと親鸞聖人のご和讃を思い出ししました。

悪性さらによめがたし
こころは蛇蝎のごとくなり
修善も雑毒なるゆゑに
虚仮の行とぞなづけたる
『正像末和讃』の中の一節です。普段は虫も殺さないような顔をしています（？）が、実際は蛇やサソリのような心をしている私です。



身業（身に行う）・口業（口に言う）・意業（心に思う）の行為を仏教では三業といいますが。その三業を慎めと仏教は勧めます。私は口業と意業で今回の報道に対して愚かな行為をしていました。反省しながら思ったのは「うつさないためうつらない」との思いで行動することが重要なのではということ。うつさないためには、自分が感染してはだめです。うつさないという思いに立てば、感染の恐れのある危険な場所には行かなく、いや、行けなくなるはず。ちなみに危険な場所とは、三密（密集・密閉・密接）な空間、クラスター（集団感染）が発生する所。快樂を求めれば行きたくなる場所です。うつらないは自分を利すること、うつさないは他を利すること。仏さまの自利他のころには及ばずとも、他を利するために自分を利すると思ひ、行動できれば感染拡大に少しは歯止めがかかるのではないのでしょうか！

法語の世界

《原文》

南殿山水の御縁の床のうへにて、蓮如上人仰せられ候ふ。物は思ひたるより大きにちがふといふは、極楽へまゐりてのことなるべし。ここにてありがたやたふと思ふは、物の数にてもなきなり。かの土へ生じての歡喜は、ことのはもあるべからずと仰せられしと。

『蓮如上人御一代記聞書』二百四十六

《現代語訳》

蓮如上人は、山科本願寺南殿の山水の庭園に面した縁側にお座りになって、「あらかじめ思っていたことと、実際とは違うものであるが、その中でも大きく違うのは、極楽へ往生したときのことであろう。この世で極樂のありさまを想い浮べて、ありがたいことだ、尊いことだと思ふのは、大したことではない。実際に極樂へ往生してからの喜びは、とても言葉ではいい表すことができないであろう」と仰せになりました。

《現代語訳》

ことのはもあるべからず…言葉ではいい表すことができない。

境内地花の樹木 三景

- ソメイヨシノ（左）
- 木蓮（左下）
- ヤマブキ（下）

